

タバコは
町内で
買いましょう



水巻報

4月1日 (1972)

No. 283

毎月一回各家庭に配布

町の人口
(47年2月末現在)
人口 24,265
男 11,717
女 12,548
世帯数 6,847

発行所 福岡県遠賀郡水巻町役場 発行人 伊藤南門 編集人 企画管理室調査資料係 印刷所 冷牟田印刷合資会社 電話(代表) (601) 1717

のびる舗装道

進む開発

昭和四十六年度事業は、足元道路の舗装、教育施設の整備、生活環境施設の整備を目標として事業を実施して来ました。
主な事業は次のとおりです。

机小学校騒音防止対策事業
工事費 八九、六〇〇、〇〇〇円
鉄筋コンクリート三階建

【写真・完成した机小学校々舎】



吉田地区改良住宅建設事業
工事費 二四六、二三三、〇〇〇円
耐火 一三四戸
【写真・完成した五期建住宅】



猪熊小学校騒音防止対策事業
(第一期工事完了)
工事費 四一、六〇五、九六〇円
鉄筋コンクリート三階建



町道吉田・立屋敷線
(道路対策整備事業)
工事費 八、七三三、〇〇〇円
巾員 四m延長八六〇m



町道猪熊町住一号线
(県道基金事業)
工事費 一、八六〇、〇〇〇円
巾員 五m延長二六〇m



町道頃末・樋口線
(道路対策整備事業)
工事費 八、七五一、〇〇〇円
巾員 三・七五m延長六八〇m



町道伊佐座・吉田線
(県道地域開発就労事業)
工事費 三、八〇七、七〇〇円
巾員 十二m延長一、三三九m



町道伊佐座・二塚線
(県道地域開発就労事業)
工事費 一五、六四九、〇〇〇円
巾員 七・九m延長四七八、六



昭和45年度決算状況

防音校舎・改良住宅を継続
道路の舗装延長をのばす

一般会計

定例町議会は、昭和45年度の決算を認定しました。
教育施設の充実のため、机小学校、猪熊小学校、水巻中学校の防音校舎の建設、吉田地区に改良住宅二〇〇戸の建設、産業と生活のための道路の整備に努めました。

特別会計

特別会計は歳入八千七百九十六万円、歳出七千三百七十六万円で、引当金一千四百十九万円の繰りになりました。

国民健康保険事業

一千九百六十一世帯、五千四百五十二人が加入しています。世帯分離や町外転出、社会保険への移行等によって、前年度より30世帯、加入者は69人減少しています。
加入者一人当りの保険料は三千四百円で前年度より43円多くなっています。

農業共済事業

一般会計からの繰入金78万円があり、単年度収支は68万5千円の赤字です。

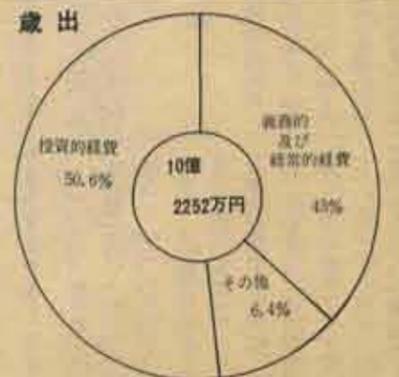
生活資金融資事業

利用者は年々減少しており、予算に對する執行額は20.6%にとどまっています。
監査委員は本事業を廃止すべき時期ではないかと指摘しております。



ガスは正しく使いましょう

- 一、ボンベは、必ず屋外に置き、20歳以上の大きなボンベを置いてある家庭は、転倒しないようにチェーン、ロープ等で壁に固定して下さい。
- 二、コンロのコンク、焼きわの元栓を完全に締めましょう。
- 三、古いゴム管は、必ずホースバンドで締め付けて、はげれないようにしましょう。
- 四、古いゴム管は販売店に相談して新しいものと取り替えてみましょう。
- 五、ゴムホースは、必ずホースバンドで締め付けて、はげれないようにしましょう。
- 六、プロパンガスを使う前には、ガス洩れがないか臭いを確かめましょう。



水巻町総合開発計画(その二)

基本構想

一、計画の考え方

1 目的、姿勢、意義

今日までの水巻町は、日戻の影響を大きくうけながら町を形成してきた。最終的な閉山を契機にその影響のもとにあった諸問題は、いっせいに表面に浮かびでてきた。放置されてきた生活環境から直接には労働力の流出問題まで、いずれも閉山にともなう問題がそそぐである。

「推進体制」は、この町づくりの目標に向かって推進していく体制である。要求にむかした住民相互の連携は、自治体の先導的機能と結びついて、実現していく力の主たる側面を形成する。

2 基本構想、基本計画、実施計画

基本構想はあくまで構想であって実施計画ではない。町づくりの長期的展望を示すものである。それには当面の諸課題、切実な問題は基本計画で述べられる。

この基本計画にもつき、数年ごとに実施計画が立案され修正、補完される。

3 基本構想の性格

「将来像」はくらし全般にわたるもので、水巻町がこうありたいという理想像であり努力目標とするべき姿の骨格であり、真髓である。

「町づくりの目標」は将来像を表現するための施策の大枠であらう。

三、町づくりの目標

1 生活と生産の環境の確立

生活と生産とは、人間生活の基本的な骨組みをなすものである。これまでの政策が生産に重点を置き、生活への配慮に欠けていたため、住民のくらしの面に多くのひずみを生じてきた。

2 生活環境づくり

住民の生活を向上させるには、所得の増加のほかに住環境整備・教育・文化の推進・社会福祉の拡充が必要で、これらを実現することこそ住民の生活環境づくりとなる。

表現のための努力は、これら生活全般にわたる数多くの課題について、住民意識にもとづく最低限充足目標を定めることから始められる。

この最低限目標がシビルミニマム(住民生活基準)であり、町行政の政策公準と考えられる。

住宅については、日戻閉山にともなう残存住宅の住居問題の解決、老朽家屋の建てかえや、流入世帯などのための新規需要にともなう住宅不足の解消をはかること。

また、文化的な最低限度の生活をいたなむため住宅の安全性・快適性・利便性のほか一人一人をめぐらすこと。

低所得者の住宅需要を優先的にとりあげ、所得に応じた家賃制度の確立などを推進する。

二、水巻町の将来像

1 勤労者の住みよい町

水巻町が今後どのような町をめざすべきかは、北九州都市圏のなかに位置を定めた。四つの柱は、住民のくらしをたかめ、安全で便利な町づくりをめざすうえで基本的なものである。それらは、たがいに別々のものでなく有機的につながらなければならない。

2 働きやすい町

はたらくことを願うすべての住民が、はたらく権利を保障され、明るい職場をもつこと。農業・工業・商業に従事するすべてが、職業・産業に誇りをもつこと。

3 社会保障のゆきといた町

幼児・児童・老人をはじめ、めぐまれない階層の人たちに、公的サービス、保護がゆきといた町全体に明るい空気がみなぎっていること。事故・病気にあわずに暮らすこと。安心して暮らすこと。社会保障制度が、生活のすべての面にゆきわたり、活力と誇りにみちた町であること。

4 住民が考えつくる町

町が住民のくらしのようつわであり、町の姿はそのまま住民のくらしの姿であることが正しく認識され、住民が町の主人公となり、職業や年令のちがいをこえて、たがいに理解しあひ高い政治意識を身につけ、それぞれの創意を發揮しながら町づくりに参加すること。

基本計画

一、水巻町をめぐる概況

1 上位計画と水巻町

水巻町のまちづくりは、水巻町の独自努力だけで、できるものではない。まちづくりの方向や将来の姿は、全国的な展望のなかで、位置づける必要がある。

1 国民経済

昭和三十年代からこれまでの「高度経済成長」を踏襲台にして、昭和六十年におけるわが国の経済規模は、著しく拡大することを予想している。昭和六十年の国民総生産は、昭和四十年の四ないし五倍、一

2 国土利用

国土は、経済社会の国際化、高密度化に即応した交通・通信網の幹線ネットワークが優先的に整備され、管理中枢機能を集積させた大拠点都市をむすぶ。国土利用の再編成がすすめられること。

3 人口

一方、人口の都市集中は、今後さらに進行し、昭和六十年の総人口一億二、〇〇〇万人の七〇%が、市街地に住むことになる。大都市ではこうした激しい都市化に対応するため、これまで以上の市街地再開発、近郊の開発がすすめられる。したがって、現在の過密・過疎の現象は、一層はげしく展開することが予想される。

3 国民生活

労働力の流動化にともない、世帯の分化、世帯規模の縮小がすすむ。従って、住宅需要の増加が、大都市およびその周辺で激化するものと予想される。

2 広域圏と水巻町

水巻町は、北九州工業地帯や北九州市の中心部と発達した交通網により、三十分内外でむすばれる距離に位置している。このため、北九州市への通勤者は年々増加し、昭和四十年で、町内全就業者のうち二入に一人は北九州市への通勤者で占められている。この傾向は、将来とも増大すると考えられ、北九州市への依存度は、生活面・生活面ともに、たかまると予想される。

1 生 産

北九州都市圏の拡大とその高度化にともない、水巻町の産業構造は大きな変化をうけている。農業については、国の工業優先政策、生産基盤の喪失、労働力確保の困難などにより、農地の宅地転用が進行している。したがって、水巻町の農業は、将来に展望を考慮するならば、地区センターとしての一定の商業集積の可能性は十分に存在する。また、住民生活へのサービス向上させる上からも、ぜひとも商業集積充実をはかる必要がある。

2 生 活

水巻町は、生産の面でも、また生活の面でもその多くを北九州都市圏に依存している。水巻町の全就業者のうち半数以上は北九州市に通勤をもち、一日のうち多くの時間を北九州市で過ごしている。また、ショッピングについても同様、北九州市に負うところが大きい。

1 公園の整備拡充

本町はその周囲を自然緑地や河川に囲まれ、すべての住民が比較的容易にこれと接触することができ、施設整備が不十分なため、有効な利用がなされていない。現在、町内には民有地を含めた小規模な遊歩場が十数箇所あるのみで、住民一人当たり公園面積は約〇・五㎡となり、都市公園法の標準面積の二割に満たない。ことに、幼児の遊歩場や手近な位置の広場が不足しているため、幼児の安全な遊びや、主婦や老人のコミュニティ（地域社会）における交流に支障をきたしている。

2 緑地の保全

本町の緑地面積にたいする山林面積の割合は他の市町村に比べて著しく低く、そのほとんどが民有地であるため、緑地の保全が困難になっている。すでにこれら山林の宅地化あるいは鉱工業用地化の計画が具体化されつつあり、早急な対応が必要である。早急に対応するには、緑地の保全を早急に行う必要がある。計画的開発と保全のための体制を確立する。ことに、明神ヶ辻山、多賀山、豊前坊山及び東部山、多賀山、豊前坊山及び東部山、伊豆神社、八幡宮、貴船神社等の社会所有緑地の保全については関係者及び住民の意志を尊重し、その推進につとめる。

3 住民スポーツ施設の拡充

スポーツをおこなう機会が少ない住民にとって、それは単に健康増進ばかりでなく、住民相互のつながりを深めるものである。このような社会体育を奨励するには、現在施設の不備が著しく、一般住民用スポーツ施設としては高松球場（日成所有）があるのみで、他は小中学校施設に依存している。このため、次のように施設の系統整備をすすめてスポーツの振興をはかる。

二、水巻町の当面する問題とその施策

(一) 生活について

1 シビルミニマム (住民生活基準) の確率

1 住 宅

今日の水巻町にとって、住宅問題は最も緊急かつ重要な課題であり、長期的、総合的な住宅供給計画にもつづく、事業の早急な遂行が必要となっている。

住宅供給計画の策定に際しては、住宅統計の整備により、問題の明確な把握を行い、実情に即した計画をすすめると共に、単に住宅のみならず住環境を含めた包括的な計画として位置づけることが必要である。

現在、国、県の住宅政策は必ずしも充分とはいえず、住宅及び住環境の問題解決を困難にしているが、国、県への政策拡充を積極的

に要求する一方、開発公社等の設立を考慮して、民間資金の誘導をはかりつつ、解決へと努力する。当面、施策の重点を住宅の絶対数の確保に置き、これに並行して、質的水準の向上につとめる。

A 住宅不足の解消

旧日炭社宅残り世帯約一、三〇〇(昭和四十七年三月推定)の今後の住宅居住についてはまだ結論が出ていない。しかも、住宅はすべて建設後三〇年以上を経過しており、老朽化のため建て替える必要としている。

また、炭住以外についても、水

二 計画的、総合的な住宅供給を

推進するため、町による開発公

社を設立を検討する。各種住宅資金の低利貸付のあっせん、借入金促進、持家及び給与住宅への民間資金の導入をはかる。

B 住宅水準の向上

本町は他町村にくらべて、住民一人当たりの敷地面積が狭小で、狭小敷地を遊べる人が多く、また、浴室のない住宅や水洗化されていない住宅が多く、採光、換気も不十分で、湿潤な宅地に建つ住宅もみられる。

健康で文化的な生活をいとなむ

ため、このような問題の克服に努

力し、次の施策を推進する。

イ 住宅の安全性、保健性、利便

性を考慮した住宅基準を設

け、基準の引き上げにつとめる

住宅改善については指導と、

住宅改良資金貸付等内償にお

こない、献金による被害家屋に

ついては、早急に復旧改善をは

かる。

ハ 公的資金による住宅の建設に

際しては、原案の規模拡大のため、公的住宅の建設基準を引き上

昭和60年迄の住宅需要推計

Table with 2 columns: Category (Old houses, etc.), and Value (Number of units). Total units: 8,000.

昭和60年迄の住宅建設計画

Table with 5 columns: Category (Public funds, etc.), Number of units, and other details. Total units: 8,000.

げを関係方面に協力はいたさしかけることにも、町の世帯数増成を考慮した規模別住宅構成の適正化をはかり、二人一室の目標へと漸進させる。そのさい、公的資金による住宅の家賃体系を検討する。

こうした生活面での依存がたか

がすすめられることにより、下

まることにより、水巻町は今後一

をいとなむにふさわしい条件が整

北九州都市圏との住居地域と

らば、住民の豊かな生活づくり

死を招くシンナー・ボンド遊び

町内にも侵入



シンナー遊びの現場

シンナー・ボンド遊びとは、塗料の溶材であるシンナーや接着材であるボンド・セメタインをビニール袋に入れて、においを吸う遊びです。

これを取り返すと頭や内臓がおかされ、催眠、めいてい、興奮、幻覚状態になり、これが慢性化すると、精神障害を起し、量や方法によっては、呼吸麻痺や運動障害を起して死を招く事もあります。

流行のきざし

シンナー・ボンド遊びは、恐ろしい遊びとしてマスコミで取り上げられており、その発見や指導に警察や各地区の補導員の方が努力されております。

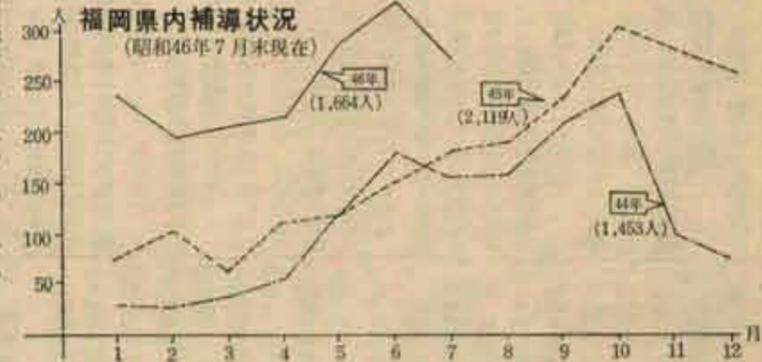
最近、梅ノ木区の日産住宅近辺からシンナー遊びをしている少年が発見され補導されました。その他の地区でも、シンナー遊びの跡が発見されております。

家庭や地区の方へ

町民の皆様は愛の目、愛の手で青少年を悪の遊びから守って下さい。

本町は、日産の閉山による

福岡県内補導状況 (昭和46年7月末現在)



り安眠が多くあります。このような場所やお宮・公園・便所等でおこなわれている事が多く、もし発見したときは、すぐやめさせるか、警察や各地区の補導員に連絡しましょう。



●音響機器を完全にし、用心な遊び、防犯ベルなどを取りつけましょう。
●ペラペラ側のガラスや窓にも補助錠を取りつけましょう。
●家に入ったなら内力を必ずかためましょう。
●人がたずねて来たらずのぞき窓からたしかめ知らない人には用心なさりげなくしりぞきまわしましょう。
●電気やガスの検針員など、知らない人で家内に入る必要があら

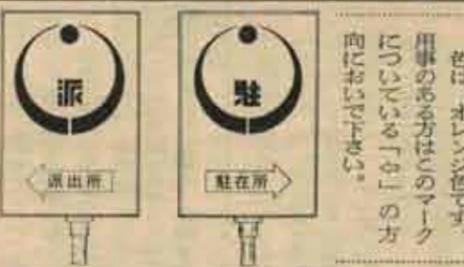
春の防犯

あなたの家は ねらわれています

春は、空気が暖かくなり、多くの人々が外出し、あなたの家は、近頃、アパルトマンシヨンの侵入が増え、お外にもれず、防犯と関係が、外部との連絡が、出来にくいから、

これが 派出所 のマークです

福岡県内には、「派出所」「駐在所」が六万カ所ありますが、この中には、表通りから入りこんだ場所にあたり、建物の影になっでいて、わかりにくい、などと、皆さんに迷惑をかけておりました。このほど、一般からの公募により、次のようなシンボルマーク



色は、オレンジ色です。用事のある方はこのマークについている「出」の方向においで下さい。

みずほ団地 店舗用地売出し

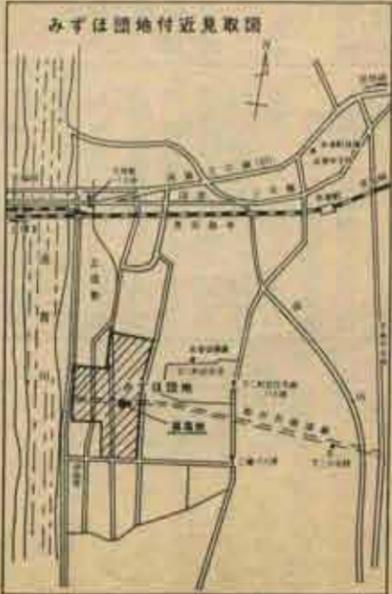
福岡県住宅供給公社では、水巻 宅管理係まで申し込み町伊佐地区にある、みずほ団地内の、下さい。店舗用地、購入者を決めたい。住宅敷地としては一四戸あり最終的には三二戸建設予定です。又、隣接地として二町住三〇三、入江調 住宅二〇三、伊佐五七戸が あります。

楽しいプレゼント 巨人—西鉄戦を見学

三月十一日、水巻中学校、頃末小学校の特殊学級生徒が、小倉球場で行なわれた、巨人—西鉄戦の試合を見学しました。球場に着いた生徒(児童)達は、試合が始まる前を利用して、西鉄応援団長川辺氏のご厚意により巨人、西鉄両監督に対し試合の開始を祈り手紙を送りました。元日本代表でノンプロ時代活躍された後、巨人へ入団した黒江選手に対して、江藤一正水巻町社会福祉協議会会長より花束が送られ、今後の活躍を祈りました。試合が始まると、自分のファンの選手を一生懸命応援していました。



写真：巨人軍川上監督(左)と特別学級生(右)の交流の様子。熱心に見守る生徒たち。



- 1 所在地
- 2 設備
- 3 受付期間
- 4 地積
- 5 譲渡予定価格
- 6 条件
- 7 お問い合わせ先

納税は便利な 口座振替で

あなたは、仕事などで忙しく、ついでに税金を納めるのをわすれた、と言ったことはありませんか。そのような方は、口座振替をご利用下さい。この制度は、町が指定している金融機関(福岡銀行、滋賀信用金庫、滋賀労働水産支所)のあなたの預金口座から直接税金を納付する制度です。この制度を利用すると、税金を納めるための時間が節約できる現金の持運びがなく安全です。また、納期をわすれたり、督促料の無駄がなく、一人の口座で家族全員の税金を振替えることができます。

おつきんで おくやみもうし あげます。つきの方から書状送付にかえ多額の会費を社会福祉協議会にご寄附いただきます。ここに厚くお礼申し上げます。ご家族のご負担をお祈りいたします。 藤崎正徳(頃末大西) 藤崎ツル殿